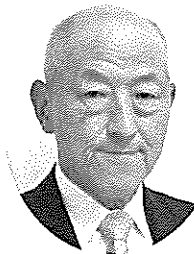


第52号

発行所 馬場ケ龍ヶ水沢高校同窓会
0197-24-3151

元旦に発災した能登半島を襲った地震と津波、翌日その支援のため出発しようとした海保機と日航機の衝突事故がありました。多くの方々が犠牲となり、いまだに被災者は苦しい避難生活を余儀なく



同窓会長 長野耕定

されています。ここに哀悼の意を表すると共にお見舞い申し上げます。同窓生の中にも関係者がいらっしゃるのではないかと思うと心が痛みます。

年が明けて今年の歳祝いの案内が2通届きました。その中の喜寿の該当者として私の名前がありました。去年75歳になりついに後期高齢者の仲間入りをしたことは認識していましたが、喜寿のことはまだ先だと思っていたので頭になく驚きでした。そういえば去年一

つ先輩の喜寿の祝いをしたのを忘れていました。

戦後数年間おこったベビーブームの真ただ中に生まれ人数が格段に多い世代として社会に少なからず影響を及ぼしてきたと思っています。小中高のクラス人数は50人、今となれば同級生が沢山いるのはよかったことだが、入試・就職は常に狭き門がついてまわった。子育て時代にはスキー場でのリフト待ちの長蛇の列だった事も思い出す。良いことといえば、年金を十

分に支えることができている事かな。後に作家堺屋太一氏によって高齢化社会を予測した小説「団塊の世代」が出された。ただ、堺屋氏も出生率がこれほどまで落ち込むとは思わなかった様です。

今は二つ下の世代が満75歳をむかえることを「2025年問題」として語られています。高齢者の増加で年金・医療・介護などの社会保障費の急増が見込まれ、少子化の進む中その制度をどのように維持していくのが社会問題化するか

らです。さらに、人口減少が経済・伝承文化などに影響を及ぼすことにもなるでしょう。世界の人口は今少し増え続けるようですが、少子化の問題は日本だけではなく先進国共通の悩みようです。

2022年に生まれた子供は80万人を割り込んで我々世代の約3割の数になってしまいました。最近、中学の野球部員が数人しかいなくてチームが組めないという話がありました。私の出身中学でしたが、いわゆる街の中学なので生徒数はそこそこいるはずなのに、ビックリしました。ソフトテニス部には入部がいなかったとか。これではこの先クラブ数が減り、子供たちがやりたいスポーツを選べなくなるのではないのでしょうか。特に団体競技は部員不足が懸念されています。

昨年、コロナ感染症も5類になりやっというる気にせず集りが出来るようになりました。開催できずにいた同窓会総会も8月に行うことができ、多くの皆様に参加いただきました。

今年は各支部の総会が開催されるものと楽しみにしております。竹内まりや作詞作曲の「人生の扉」に70代はオーライとある。健康に気を配りながら元気に過ごす70代の意味だそうです。同窓生の皆様もお元気で過ごしてください。

御挨拶



校長 寒河江 和広

水高同窓会の皆様には、日頃から本校の教育活動に対し物心両面にわたり御支援と御協力をいただき、教職員を代表いたしましたし、心より感謝申し上げます。この4月に着任いたしました寒河江と申します。私は本校同窓生ではないのですが、平成13年から5年間、教諭として勤務しておりましたので、17年振りに水高に戻ることができたことになりました。当時を振り返りますと、顧問をしていた卓球部で、個人ではインターハイに出場した生徒はいましたが、なかなか団体では勝ちきれなかったところ、同窓生で構成される水高卓球部有志会の全面協力を頂き、高総体で男子が団体優勝を成し遂げ、その後3年連続団体でインターハイに出場したことが、大きな思い出の

ひとつとして残っております。

さて、本校に赴任して最初に感じたのは、制服が変わっていることでした。水高のような歴史ある伝統校で制服を変えるところは、とても勇気のいることだと思いましたが、聞くところによりますと、当時の生徒たちが、自分たちは着ない制服にも関わらず、何度も検討を重ね、水高の持つ生徒会 motto にふさわしいデザインにしたと聞き、改めて水高生の持つ行動力に感銘を受けた次第です。

話は変わりますが、校長室の書棚には本校の周年記念誌が並んでいます。折角なので、時間を見つけてはページをめくり、水高の100年を越える歴史を学び始めました。すると、水高が新制県立高校としてスタートした昭和23年当時、県

下唯一の男女共学の県立高校だったことや、大運動会が令和5年の今年が100回目にあたること、当時の水高に入学するには中学校で相当上位にいなければならなかったこと、東大や東北大の合格者が出るまでに教員も生徒も一生懸命取り組んだことなど、伝統校とは言いつつ、いくつもの新しい試みを積極的に取り入れながら発展していったことがわかりました。このことを全校集会などの機会に生徒たちに紹介しているところです。

次に、今年度水高が新しくなった点について、この場を借りて同窓会の皆様にお伝えしたいと思えます。まず、第一体育館に大規模改造工事が入り、リニューアルされました。照明もLEDとなり明るくなりましたし、フロアも磨き直しました。また、すき間風が入っていた二階のサッシ窓も新しくなり、暖房効果も上がりました。加えて屋外トイレや校舎一階の女子トイレも洋式化工事を行い、生徒が使いやすい環境に改善いたしました。校舎のトイレについては、今後も順次洋式化工事を行う予定です。

また、学校の様子が皆様が届くよう今年度は学校ホームページの更新を頻繁に行っております。トップページの「note」のバナーをクリックすると学校行事や生徒の様子がタイムリーに見られるようにしてあります。このnoteの記事は生徒が作成しておりますので、どうぞ一度見に来ていただければと思います。それと今年度は、学校行事のほぼ全てをコロナ以前の状態に戻すことができませんでした。運動会のカッパ隊の行進も、当初はできるかどうか不安でしたが、有志生徒が160名も出まして、盛大に行進することができ、おかげ様で運動会当日は終日雨予報でしたが、水高グラウンドだけは青空に恵まれ、予定していた全ての競技を行うことができました。

このように、水高の生徒たちは、時代を経ても生徒会 motto を受け継ぎ、努力し、青春を謳歌しています。同窓会の皆様には、今後とも水沢高校を応援していただき、ますますよう重ねてお願い申し上げます。御挨拶といたします。

同窓会総会と今年度の活動について

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響があったものの、学校の諸行事等の教育活動は通常に近い形で行われました。同窓会においては、5月29日(月)に役員会を開催し、令和4年度の事業報告・決算、令和5年度の事業計画・予算などについて協議し、同窓会総会の開催については、久しぶりに対面の総会を開催することとなりました。

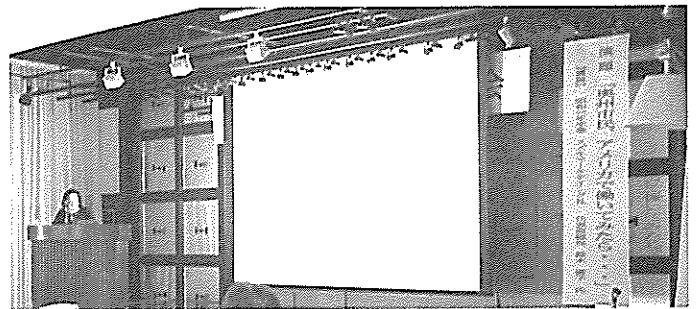
今年度の総会は、8月11日(金)水沢グランドホテルにおいて開催されました。総会・講演会・懇親会等約56名のご参加をいただき、多くの同窓生に参加していただきました。14時からの総会では長野同窓会長、寒河江校長の挨拶のあと、令和4年度の事業報告・決算報告、令和5年度の事業計画案・予算案などについて協議し承認されました。経年劣化しオイル漏れや故障が多い状況にあった除雪用機械の購入も承認され、在校生のために今後活用されることとなります。講演会では、スズキマーケティング社代表取締役の鈴木優子さん(昭和59年3月卒業、高校36回生)から「奥州市民、アメリカで働いてみたら…」と題してご講演をしていただきました。鈴木さんはカリフォルニア州サンノゼ市在住で、東京外国語大学卒業後リクルート社、ノースウエスタン大学ケロッグ経営大学院、ペプシコーラ社などを経て現職で活躍されています。奥州市

の物産品の販路拡大やインバウンド誘客に向けて奥州市と連携し支援をされており、帰省のタイミングを総会に合わせていただき今回お招きすることができました。海外生活でのご苦労や仕事を通じて経験された様々なことについてお話をいただく貴重な機会を得ることができ、出席者からも好評を得ました。その後引き続き懇親会を開催し、世代を超えた会員間での親睦を深めることができました。最後は元応援団会員のタクトで校歌を歌うことができ、母校に思いをはせる時間を共有できたのではないかと思います。来年度も多くの会員にご参加いただき、会を盛り上げていただければ幸いです。

また、支部活動については盛岡、仙台、東京支部の総会・懇親会は開催見送りとなり、同窓生との交流を楽しみにしている皆さんも多いことから、4年続けて開催できなかったことは残念でなりません。来年度以降通常同窓会支部活動が再開されることを期待したいところです。

なお、同窓会ではHPを開設しております。総会のご案内等同窓会の活動も紹介しておりますので是非ご覧ください。また、在校生の活動の様子は水高ホームページでも詳しく紹介していますので併せてお知らせいたします。

(水高同窓会事務局)



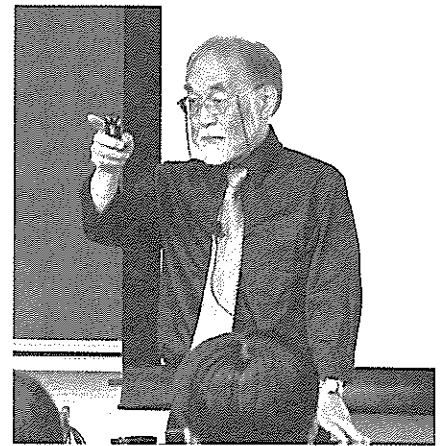
同窓生 佐藤専輔氏講演会開催

十一月二十一日(火)、水高志学館において、一九七三(昭和四十八)年卒 第二十五回生佐藤専輔氏の講演会が、二学年生徒及び同窓生対象に開催されました。「My Life in Amerika after Mizuko」(水高後のアメリカでの私の人生)と題した講演は、全て英語で行われました。

世界を舞台に活躍する卒業生の講演に、生徒達は目を輝かせて聞き入っていました。

佐藤氏の生き方、考え方に感銘を受け、自己の可能性や努力の大切さに気付かされた生徒もいたようです。

同窓生の方々にもご参加いただき、ありがとうございます。

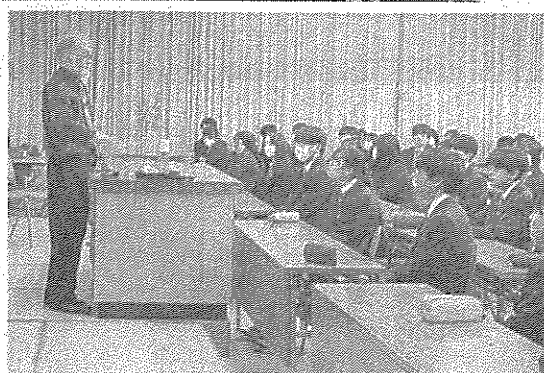


NY在住の医師、佐藤専輔さん 母校水沢高で英語講演

県立水沢高校の卒業生でニューヨーク医科大学に勤務する佐藤専輔さん(68)旧姓・金野の講演会がこのほど、同校で開かれた。アメリカ人の日常生

活で英語力を身に付けた佐藤さん。その経験則に基づき、生徒たちへの講演は全て英語で実施した。

佐藤さんの同級生で、自営業の福井柳さん



自身の生い立ちなどを英語で講演した佐藤専輔さん(左)

水沢袋町Iが中心となり企画。20歳で渡米しアメリカの大学で学び、そのまま医師になったユニークな経歴を在校生に紹介し、刺激を与えたいとの思いから実現に至った。

佐藤さんは同校卒業後に両親を説得し、2年の準備期間を経て渡米。ジョージタウン大

現在の同医大泌尿器科の正教授となり、泌尿器系がんの研究や学生たちの指導などに当たっている。佐藤さんは「やはりその地に行って会話を学ぶことを勧めたい。簡単なことで

学は英語クラスに通った。当時は15人ほどの日本人がいたが、担任から「英語を早く学びたいければ、どんな外に出て行って人と話すと。日本人とばかり集まって話さないように」との指導を受けた。結果、店での買い物など日常会話が非常に役立ったという。

「ではないが、ぜひ貴重な体験や経験を通して自分の夢を実現させてほしい」などと生徒たち呼びかけた。

母校水沢高で英語講演
胆江日日新聞 2023年11月25日付

核兵器絶

世界平和へ行動一層

高校生大使 新山怜奈さん(水沢)インタビュー

本年度の第26代高校生平和大使は、本県から県立水沢高2年の新山怜奈さんと県立盛岡第一高2年の佐藤悠希さんが選ばれ、活動している。...

「これまでの活動を振り返り印象に残っていることは、活動で強く感じたのは、地域による平和意識の差。...

「関心持ち考え続ける」 広島や長崎で出会った被爆者の言葉から、ずっと苦しみが続いている。...

「関心持ち考え続ける」 秋、冬は本県での取り組みを進めたい。...



第26代高校生平和大使として活動する水沢高校の新山怜奈さん

高校生平和大使 被爆地の願いを世界へ伝えるため、同大使派遣委員会が1998(平成10)年から...

「今も世界各地で武力紛争が起きています。平和大使として思っている。」

私自身、大使にならなければ被爆地の人たちの思いを深く知ることがなかった。...

第26代高校生平和大使として活動する水沢高校の新山怜奈さん 胆江日日新聞 2023年10月11日付

全国の舞台上で躍動



同窓生の活躍

日本代表メンバー 佐藤投手 (新潟医療福祉大) 2年連続



全日本大学軟式野球連盟・国際親善大会
12月に台湾で開催された佐藤投手
(新潟医療福祉大3年・水沢高出身)

全日本大学軟式野球連盟の主催で、台湾で行われる国際親善大会の日本代表メンバーに、佐藤投手(新潟医療福祉大3年・水沢高出身)が2年連続で選出された。佐藤投手は、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。佐藤投手は、高校時代からプロ志向を持っており、新潟医療福祉大に進学後も、投手として活躍している。佐藤投手は、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。

12月に台湾で開催 全日本大学軟式野球連盟・国際親善大会



全日本大学軟式野球連盟・国際親善大会
12月に台湾で開催された佐藤投手
(新潟医療福祉大3年・水沢高出身)

全日本大学軟式野球連盟の主催で、台湾で行われる国際親善大会の日本代表メンバーに、佐藤投手(新潟医療福祉大3年・水沢高出身)が2年連続で選出された。佐藤投手は、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。佐藤投手は、高校時代からプロ志向を持っており、新潟医療福祉大に進学後も、投手として活躍している。佐藤投手は、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。

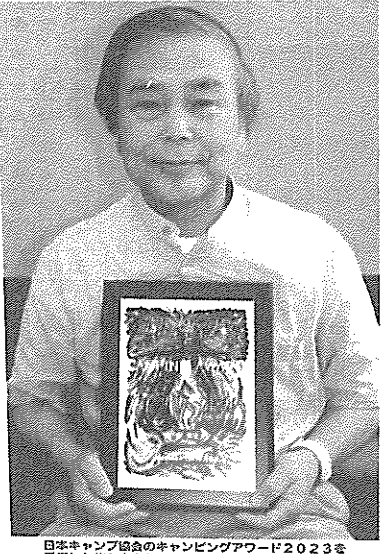


昨年の全日本大学軟式野球連盟・国際親善大会、
野球観戦などで台湾の輪を駆け巡る選手たち

日本代表メンバー 佐藤投手 2年連続
全日本大学軟式野球連盟・国際親善大会
12月に台湾で開催
胆江日日新聞 2023年9月21日付

佐々木さん(花巻)受賞

県協会長 指導者育成に尽力



日本キャンピング協会のキャンピングアワード2023を
受賞した佐々木さん

県キャンピング協会長の佐々木さん(花巻)が、指導者育成に尽力し、日本キャンピング協会のキャンピングアワード2023を受賞した。佐々木さんは、県キャンピング協会の会長として、指導者育成に尽力し、多くの指導者を育て上げた。佐々木さんは、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。佐々木さんは、高校時代からプロ志向を持っており、新潟医療福祉大に進学後も、投手として活躍している。佐々木さんは、この大会で活躍し、日本代表の主力投手として活躍している。

キャンピングアワード2023
佐々木繁夫さん(花巻)受賞
岩手日日 2023年7月18日付



後輩も頑張っています



最近 3 年間の進路状況

学校名等	卒業年			学校名等	卒業年			学校名等	卒業年			学校名等	卒業年		
	R5	R4	R3		R5	R4	R3		R5	R4	R3		R5	R4	R3
北見工業大	2			札幌学院大	3			千葉商科大	1	1		湘南工科大			1
北海道教育大	4	2	5	北海学園大	1			中央学院大		1		桐蔭横浜大			1
小樽商大			1	北海道情報大	1			帝京平成大	1	1	1	新潟医療福祉大	1	2	2
室蘭工大	2	3	4	日本医療大	1			東都大	1	1		新潟食料農業大	1	2	1
弘前大	6	8	7	青森大	1	1	1	明海大			1	金沢工大			2
岩手大	23	30	21	青森中央学院大			1	亜細亜大			1	金沢学院大			1
東北大	3	3	3	八戸学院大		1		桜英林大		1	1	帝京科学大			2
宮城教育大	3	2		八戸工大	3	2	2	学習院大			1	中京大	1		
秋田大	6	4	10	弘前学院大		1		北里大		2	1	名古屋外国語大			
山形大	9	6	13	弘前医療福祉大	1	1		工学院大	1			鈴鹿医療大	1		
福島大	5	5	1	岩手医大	8	8	5	国際基督教大		1		名古屋芸術大			1
茨城大		1	2	岩手保健医療大	2	4	2	国士館大		1	1	名古屋造形大			1
筑波大	1	1		富士大	1	1		芝浦工大	3		1	京都橘大			
宇都宮大	6	1	3	盛岡大	12	25	16	順天堂大			1	立命館大			
群馬大	3	3	3	石巻専修大	5	5	8	昭和薬科大			2	近畿大			1
埼玉大	2	2	1	尚絅学院大		5	4	白百合女子大	2			摂南大	1		
千葉大	2		2	袖台大	1	2	6	杉野服飾大			1	関西学院大	1		
電気通信大	1	1	1	仙台白百合女子大			1	成蹊大	2			吉備国際大	1		
東京外語大				東北医科薬科大	4	3	4	成城大			1	合計	181	215	203
東京海洋大			1	東北学院大	23	22	36	専修大	2	2	1	岩手県大宮古短	3	5	9
東京芸術大		1		東北工大	14	9	10	創価大	1			岩手県大盛岡短	3	1	5
東京農工大	1			東北生活文化大		2	1	大東文化大		2	1	山形県米沢女短	3	3	10
新潟大			5	東北福祉大	13	10	14	高千穂大			1	会津大短大部		3	1
富山大	1			東北文化学園大	1		2	拓殖大	1			大月短	2		6
金沢大	1		1	宮城学院女子大	8	5	5	多摩大	1			合計	11	12	31
信州大			1	東北芸術工大	1	3		多摩美術大			1	盛岡大短大部	1	1	
静岡大		1	2	秋田看護福祉大	3	1	1	中央大	4	4		仙台青葉学院短	1		2
奈良教育大			1	日赤秋田看護大	1	2	1	津田塾大		1		仙台赤門短			1
広島大		1	1	ノースアジア大	1			帝京大	1	2	1	日赤秋田短			1
宮崎大		1		医療創生大		2	1	東海大	7	10	1	國學院栃木短			1
琉球大		1		つくば国際大			1	東京家政大			4	東京交通短	1		
合計	81	77	89	流通経済大			1	東京経済大		1	1	合計	3	2	4
公立大学				国際医療福祉大	2	2	3	東京工科大	4	1	2	県立一関高等看護	2	7	4
鋼路公立大			5	白鷗大	3			東京工芸大		1		県立宮古高等看護		1	
はこだて未来大	1			群馬パース大		4	1	東京農大		1		盛岡看護医療大学校	1		1
名寄市立大	1	2	2	関東学園大			1	東京都市大			3	花巻高等看護	1	1	1
青森県立保健大	1	2	2	高崎健康福祉大			1	東京薬科大	1	1	1	水沢学苑看護			2
青森公立大	1	1	3	高崎商科大			2	東邦大		1		仙台医療附看護助産			1
岩手県立大	12	12	11	浦和大		1		東洋大	3	1	1	気仙沼市立看護専門			1
宮城大	4	4	7	埼玉医大			1	二松学舎大		1	3	葵会仙台看護			1
秋田県立大	4	1	7	埼玉工大			1	日本大	10	2	7	秋田県立衛生看護			1
秋田公立美大		1		城西大	1			日本社会事業大		3	4	いわき市医療看護			1
国際教養大			1	城西国際大		2	1	日本獣医生命科学大			2	茨城県きぬ看護			1
山形県立保健医療大			1	尚英学園大		1		日本女子大		1		都立北多摩看護			1
前橋工科大	3		1	駿河台大		2	1	日本体育大			1	横浜医療附看護			1
高崎経大		3	1	東京国際大			1	法政大		3	1	横浜中央病院附属看護			1
埼玉県立大			1	獨協大		1	1	武蔵野大	2			岩手リハビリテーション学院		4	1
東京都立大		1		日本工業大	1			武蔵野美術大			1	国際医療福祉専門		1	1
新潟県立大				文芸教大			1	明治大	1	2	1	山形医療技術専門			1
長岡造形大		1		文京学院大			2	明治学院大	1		1	その他医療系専門学校			1
都留文科大		4	2	平成国際大		1		明治薬科大	1			その他専門学校	6	12	6
長野大		2	1	日本医療科学大			2	立教大			1	合計	10	31	22
静岡県立大	1			神田外語大	2	2	1	立正大			1	公務員	4		3
宮崎公立大	1			敬愛大			1	早稲田大		1	2	民間就職	1		
合計	29	34	45	淑徳大	1		1	東京未来大		1		合計	5		3
国立看護大学校			1	聖徳大	1		1	麻布大		1					
職業能力開発大学校			1	千葉科学大			1	神奈川大			2				
県立産業技短	1	4	7	千葉工大	1	6		神奈川工科大	1	4					
合計	1	4	9												

令和5年度 部活動諸大会記録

《運動部》

県大会ベスト8以上

剣道部

新人大会県大会
1回戦 水沢0(6)12(5)x修紅
2回戦 水沢x0(4)0(5)盛三

サッカー部(男子)

高門内杯JFA U18サッカーリーグ岩手2023 LEAGUE
第1節 水沢 6-1 北上翔南
第2節 水沢 2-1 江南義塾
第3節 水沢 0-2 盛大附属
第4節 水沢 3-1 専大東北上
第5節 水沢 3-1 盛岡市立
第6節 水沢 0-1 盛岡第三
第7節 水沢 0-1 1連目
第8節 水沢 0-1 4 盛大附属
第9節 水沢 3-1 1 江南義塾
第10節 水沢 2-0 2 盛岡市立
第11節 水沢 1-1 3 花巻東
第12節 水沢 1-1 3 北上翔南
第13節 水沢 1-1 3 盛岡第三
第14節 水沢 1-1 7 専大東北上

サッカー部(女子)

第74回岩手県高等学校総合体育大会
3位決定戦 水沢 4-1 0 花北青雲
第32回全日本高等学校女子サッカー選手権大会
予選リーグ 水沢 0-1 0 花北青雲
予選リーグ第2位 水沢 0-1 0 不来方
第58回岩手県高等学校新人サッカー大会
準決勝 水沢 1-0 0 (PKO12) 不来方
3位決定戦 水沢 1-0 0 花北青雲 第3位

バスケットボール部(男子)

高校総体県大会
3回戦 水沢 93-85 1 福岡
4回戦 水沢 89-74 67 高田
準々決勝 水沢 61-93 85 盛岡南
選抜大会県大会
1回戦 水沢 25-1 73 盛岡市立
ベスト8

バスケットボール部(女子)

高校総体県大会
2回戦 水沢 159-1 34 花巻北
3回戦 水沢 78-71 1 盛岡南
準々決勝 水沢 44-1 75 69 61 34 盛岡南
準決勝 水沢 3年4組 中村早希
(優秀選手) 3年4組 中村早希
新人大会県大会
1回戦 水沢 60-1 50 花巻北

バレーボール部

高校総体県大会
団体戦男子
2回戦 水沢 3-1 0 盛岡第一
3回戦 水沢 3-1 0 花巻農業
4回戦 水沢 3-1 0 水沢第一
準決勝 水沢 0-1 3 花北青雲
新人大会県大会
男子学校対抗
2回戦 水沢 3-1 0 盛大附属
3回戦 水沢 3-1 0 黒沢尻北
準々決勝 水沢 0-1 3 釜石
準決勝 水沢 3-1 1 盛岡市立
3位決定戦 水沢 3-1 1 盛岡市立

ソフトテニス部

第33回岩手県ジュニア選抜ソフトテニス選手権大会兼ハイスクールジャパンカップソフトテニス選手権大会
ダブルス9組参加
渡邊夏姫・佐藤ちさと 第2位
シングルス97名参加
渡邊夏姫 第3位
岩手県高等学校総合体育大会ソフトテニス競技
個人戦 渡邊 夏姫・佐藤 ちさと
2回戦 4-1 3 宮古
3回戦 4-1 2 久慈
4回戦 4-1 1 高田
準決勝 4-1 1 一関学院
準決勝 インターハイ、東北大会出場
団体戦 2-1 1 釜石
3回戦 (相手が棄権)

卓球部

選抜大会県大会
男子学校対抗
1回戦 水沢 3-1 0 千歳
準決勝 水沢 3-1 1 3 前沢
3位決定戦 水沢 3-1 1 3 盛岡市立
女子学校対抗
1回戦 水沢 0-1 3 3 花北青雲
7位決定戦 1回戦 第8位 花巻北

柔道部

高校総体県大会
(女子) 団体
1回戦 水沢 3-1 0 盛岡四
2回戦 水沢 0-1 3 2 花巻北上
準々決勝 水沢 0-1 3 2 専大北上
新人大会県大会
(女子) 団体
1回戦 水沢 不戦勝 伊保内
2回戦 水沢 3-1 0 福岡
3回戦 水沢 2-1 3 専大北上
4回戦 水沢 3-1 2 小野寺・武田(盛岡二)
ダブルス 渡邊 夏姫・佐藤 ちさと
2回戦 水沢 3-1 0 小野寺・武田(花北青雲)
3回戦 水沢 3-1 2 遠藤・菅原(一関二)
4回戦 水沢 0-1 3 遠藤・菅原(一関二)
シングルス 及川 水沢 3-1 2 佐藤(千歳)
2回戦 水沢 3-1 2 佐藤(千歳)
3回戦 水沢 3-1 2 小野寺(盛岡二)
4回戦 水沢 3-1 2 小野寺(不来方)
東北高等学校選抜卓球大会岩手県予選会
予選リーグ 3位
水沢 0-1 3 関二
水沢 3-1 0 盛三
水沢 3-1 1 花北
水沢 3-1 0 千歳

陸上競技部

高校総体県大会
400m 高橋 涉成(決勝進出7位)
200m 高橋 涉成(2位・東北大会出場)
4x400m 高橋 友星・佐々木 将成・遠藤 光
400m 高橋 涉成(決勝進出7位)
第78回東北高等学校陸上競技大会
400m 高橋 涉成(準決勝進出)
岩手県陸上競技選手権大会
団体A 300m 佐藤 友星(8位)
男子2部 高橋 健弥(8位)
第75回岩手県民体育大会陸上競技
2部男子300m 佐藤 友星(7位)
2部男子走幅跳 佐々木 将成(7位)

山岳部

高校総体県大会
男子
佐々木治雄・高橋一颯・石川達也・塚本直央
女子 第2位
三浦瀧音・佐藤愛織・坂本倫花・千田美優
新人大会県大会
男子 第3位
石川達也・塚本直央・藤田若生・佐藤湧
女子 第2位
佐藤愛織・佐々木日菜子・阿部沙也・岩淵葵
第13回岩手県高校生スポーツクライミング大会
男子リード
第1位 本明 佳 第3位 平瀬太誠
第9回東北高等学校登山大会
団体女子 第10位
三浦瀧音・佐藤愛織・坂本倫花・千田美優
燃ゆる感動かこしま団体
少年男子ポラログリッド 岩手チーム(本明 佳参加)
少年男子リフト 岩手チーム(本明 佳参加)
第14回全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会
本明 佳・平瀬太誠出場

弓道部

第42回全国高等学校弓道選抜大会岩手県予選会
女子団体 3位
選手・熊谷悠花 熊谷紗也子 八木優希菜 及川楓
予選36射20中1準決勝10中 1位通過
決勝19射11中決勝10中 3位

水泳部

高校総体県大会
男子団体(入賞得点数) 5位
男子400mフリーリレー(千葉真太郎 加藤周良 日高 遼介 菊池克己) 決勝6位(東北大会へ)
男子400mメドレーリレー(加藤周良 菊池克己 渡邊 理央 日高遼介) 決勝4位(東北大会へ)
個人種目
100m背泳ぎ 決勝8位(東北大会へ)
菊池 葵
200mバタフライ 決勝7位(東北大会へ)
渡邊理央
100mバタフライ 決勝8位
菅野実咲子
200m背泳ぎ タイム 決勝8位(東北大会へ)
外山遼愛
800m自由形 タイム 決勝5位
400m自由形 タイム 決勝5位(東北大会へ)
100mバタフライ 決勝6位(東北大会へ)
菊池克己
100m平泳ぎ 決勝4位(東北大会へ)
加藤周良
200m背泳ぎ 決勝6位(東北大会へ)
100m背泳ぎ 決勝8位(東北大会へ)
50m自由形 決勝3位(東北大会へ)
100m自由形 決勝6位(東北大会へ)
第61回岩手県高等学校新人大会
男子入賞得点数 4位
男子400mメドレーリレー(加藤周良 菊池克己 渡邊 理央 日高遼介) 決勝4位(東北大会へ)
個人種目
外山遼愛 400m自由形 タイム 決勝4位(東北大会へ)

女子個人対抗

- 女子個人対抗 第2位
2000m平泳ぎ決勝3位(東北大会)
1000m平泳ぎ決勝3位(東北大会)

- 男子個人対抗 第2位
2000m平泳ぎ決勝3位(東北大会)

- 男子個人対抗 第1位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 女子個人対抗 第1位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 男子個人対抗 第1位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 女子個人対抗 第2位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 男子個人対抗 第2位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 女子個人対抗 第3位
2000m平泳ぎ決勝4位(東北大会)

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

文化部

第46回岩手県高等学校総合文化祭ポスター
優良賞 伊藤よつは
第75回全日本合唱コンクール岩手県大会 銀賞
優良賞 伊藤よつは

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 男子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

- 女子個人 第1位 横澤 まりい
第2位 芳賀 珠那
第3位 鈴木 裕那
第4位 鈴木 裕那
第5位 鈴木 裕那

行蔵 徳太郎 徳太郎 徳太郎 徳太郎
天地 龍虎 龍虎 龍虎 龍虎
徳太郎 徳太郎 徳太郎 徳太郎

第26回俳句甲子園大会(北北会場)
優良賞 15年連発全国大会出場
第26回俳句甲子園全国大会出場

俳句部門
優良賞 鈴木 綾乃
優良賞 鈴木 綾乃

noteのお知らせ

水沢高校では、noteで生徒たちの学校での活動の様子を発信しています。
 下欄のQRコードや水高のホームページからご覧いただけます。行事や学校の取り組み等の記事も掲載しております。ぜひご覧ください。



最高の大運動会！！ 大大感謝！！



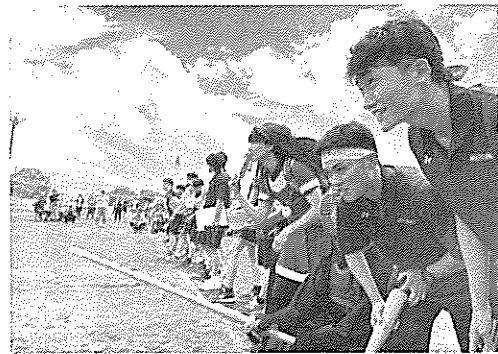
バトン(心)を繋ぐ



魂の応援！！



長縄跳び・跳躍力！



各部バトンは個性派揃いです(部対抗リレー)



note水高トップページ



運動会



夏の陣2023～全国の舞台上で躍動

令和5年度激励金交付報告

水高生が運動部、文化部ともに大活躍しました。北海道で開催された全国高等学校総合体育大会(インターハイ)に、ウエイトリフティング部、ソフトテニス部、テニスが出場しました。鹿児島県で開催された全国高等学校総合文化祭(高総文祭)には、演劇部、文芸・短詩部が出場しました。他にも東北大会に出場した部などが複数ありました。今年度は、東北大会・全国大会に出場を果たした部などに激励金として約43万円を支出しました。

水高生のますますの活躍を期待します。

運動 ウエイトリフティング部、ソフトテニス部、陸上競技部、水泳部、テニス、アイスホッケー

文化 演劇部、文芸・短詩部、書道部、かるた

水高育英会へのご寄付ありがとうございました

今年度、「水高育英会」へ総額約17万円のご寄付を頂戴いたしました。ありがとうございました。これまでも多くの進学する卒業生を支えております。今後ともご協力よろしくお願ひいたします。

水高育英会寄付者名簿(令和5年2月1日~令和6年1月31日確認分・敬称略)

第7回卒関東春秋会・444会

青山 栄、伊藤 康道、小澤 修、木村 恵也、佐々木 繁夫、佐藤 幸子、
刀根 勝雄、中田 佑、芳沢 莖子、村上 倍達

令和5年度 職員異動

◆転出

菅野 誠二 (校長)	退職
田鎖 伸也 (副校長)	盛岡南
吉田 新一 (公民)	釜石
荒田 さと (英語)	福岡
照井 俊仁 (数学)	花巻北
鈴木 竜矢 (数学)	黒沢尻北
菅野 淳 (保体)	盛岡工
落安 成美 (英語)	釜石
吉田 好諒 (公民)	大船渡東
熊谷 竜 (理科)	久慈東
千田 愛 (事務)	岩谷堂

◆転入

寒河江 和広 (校長)	北上翔南
菊地 満 (副校長)	金ヶ崎
今井 達浩 (保健体育)	盛岡工
三田 聡 (公民)	福岡
小井塚 一義 (数学)	大船渡
佐藤 紘大 (数学)	遠野
荒山 直樹 (英語)	北海道浦河
高橋 慎二 (英語)	花巻南
山下 純一 (地歴)	大迫
長岡 由佳理 (事務)	衣里小

◆事務室からのお知らせ◆

卒業生等が卒業証明書等の交付を受ける場合、手数料が必要です。一通あたり、400円分の岩手県収入証紙を添付して申請して下さい。詳しくは水沢高校ホームページをご覧いただくか、事務室までお問い合わせ下さい。

編集後記

授業に臨む真剣な眼差し、運動会やクラスマッチ、飛龍祭でのほじけるような笑顔。時代が移り変わっても、水高生は新しい伝統を創りだそうと真善美を求め、邁進しています。

同窓生の皆様には、今後とも水高生へのご支援、ご声援、をお願い申し上げます。

